

二番目の両親、それは先生



ゲールシャン・バヌ・アンサリ

出身	インド
職業等	日立第二高等学校
在日期間	10ヶ月

こんにちは。

皆さん、誰もが子どものときから勉強を始めます。子どもたちは小さいときから先生にいろいろなことを習います。きょう、私は、先生とはどういう意味か、先生とはどういう存在か、インド人にとって先生とは何か、それを皆さんにお話ししたいです。

ヒンディー語で、先生はシクシャク、英語ではティーチャー、日本語では先生といいます。言葉ではわかりますが、先生の意味を見つけるのは難しいです。

インドの小学校の先生は、子どもたちにこう教えます。皆さんのお父さん、お母さんは本当のご両親です。それに対して、学校の先生は皆さんの2番目の父と母です。自分の父と母を尊敬するのと同じように先生のことでも尊敬してください。インドの先生は、私たちにそんなふうに教えてくださいました。

インドで9月5日は先生の日です。その日は、生徒の中の二、三人が先生になって、先生の代わりに授業をします。先生は1日中暇です。

私も先生になって教えたことがあります。みんなにわからないと言われたとき、みんながうるさいとき、とっても大変でした。私は1日だけでしたが、先生は毎日大変な仕事だとわかりました。先生とは本当に大変な仕事だと思います。

インドで、ヒンズー教徒は、毎朝、父と母の足に触ります。父と母は、子どもの頭に手を置き、きょう1日勉強を頑張るように神様にお祈りします。先生も2番目の父と母ですから、生徒は毎朝先生の足に触ります。イスラム教徒の場合、足に触りませんが、子どもの頭に手を置いてお祈りするのが同じです。

授業中、先生と生徒は授業と関係のない話はだめです。おしゃべりしている生徒は、教室の外に出されます。なぜなら、生徒は学びに来ているからです。別の話をしていることは先生を尊敬していないこととなります。日本の学校ではそんなルールがありません。

インドでは、勉強と一緒に行儀も先生から習います。年上の人との話し方や小さい子との接し方、よいこと、悪いこととは何か、そして、人生を進歩させる方法まで教えてくれます。

人生で勉強はとても重要です。もしも読み書きができないと人生が難しくなります。小さいときから今まで、インドの先生、そして日本の先生、たくさんのことを教えてくれました。私は、今、日本にいて、日本語でスピーチを書いて、日本語で話しています。もし先生がいなかったら、何もわからず、何もできません。だから、私は、すべての先生を尊敬します。学校の先生だけではなく、何か私に教えてくれる人はすべて私の先生だと思います。

すべての先生は人生の問題の乗り越え方も教えてくれます。精神的な強さも教えてくれます。そして、正しい道も教えてくれます。

先生は2番目の両親です。
ありがとうございました。